

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

平成 28 年 11 月 4 日 発行

No. 8



JICA 訪問団との交流

第 2 学年 トランク担当 長谷川 英和

10 月 19 日に JICA（独立行政法人 国際協力機構）のプログラムとして、エチオピア、ミャンマー、サモアなど全 11 カ国、計 13 名の研修員の方々が本校を訪問しました。初等理数科教授法の視察として本校の数学および理科の授業を見学し、授業交流を行いました。研修員の方は、本校生徒が自ら試行錯誤しながら課題解決に向かっていく姿に大変驚いていました。

2 年生と研修員の方々との交流は給食時間から始まりました。係の生徒が多目的室にお迎えに行き、緊張した面持ちで声をかけて教室へご案内し、各学級の数班に分かれて一緒に給食をとりました。初対面ながら、自分から積極的に話しかけ、楽しく給食時間を過ごしていました。

5、6 校時は、研修員の方々との交流会でした。2 学年生徒は、これまで小樽、韓国といった多様な他者との関わりを通して、文化について学びを深めてきました。今回の交流会では、日本文化を研修員の方々に伝えること、また、研修員の方々の出身国の文化について学ぶことをねらいとし、文化に対する視点を広げたり、考え方を深めたりするための準備を行い、当日を迎えました。他者に伝える活動を通して、自分自身がどのくらい日本文化を理解しているのかに気付き、知らなかった異文化について学ぶ機会となりました。また、他者から学ぶことの価値を再認識することができ、「人」を通して文化について学びながら、「人」との関わり方に対する広がりや深まりのある時間となりました。

交流会後の生徒の振り返りシートには、「用意していたことを伝えることができたという点が成果だと感じていました。でも、それ以外の質問やもっと話題を深めたいときの英文を考えていなくて想定外のことにうまく対応できなかったと思います。これは課題です。このように、一つのことでも成果だと思っていたことも裏を返せば“課題”になりました。なかなか他国の文化を知る、伝える（自国の文化）ことはないと思うので良い経験になったと思います。他のことにも今回の成果と課題を活かしていきたいです。」という内容の記述がありました。また、交流団の皆様にご覧いただいたアンケートのなかには、「今回の交流で私たちのよかったところは何でしたか」という問いかけに対し、「全ての活動におけるみなさんの思いやり、親切さ、活発なパフォーマンスにより、中学校の活動に参加している



【英語を交えながら給食時間の交流】



【体育で学んだ柔道を実演する生徒】

間、とても身近に感じることができました。あなたがたの親切なおもてなしに本当に感謝いたします。あなたがたに会えたことを誇りに思います。」とありました。

2 学年全体としては初めての国際交流であったにもかかわらず、笑顔がこぼれ、達成感のある活動になりました。



【交流会後のJICA訪問団の皆様と2年生】

全校道徳講演会が行われる

10月17日に劇団四季の俳優で、現在ミュージカル『ウイキッド』に出演中の、飯村 和也様、あべゆき様、大岡 紋様をゲストとしてお招きして全校道徳講演会を行いました。道徳の授業内容としては、「働くということ」を柱に授業を展開しました。舞台俳優として働くということについての疑問点を、生徒が舞台俳優の皆さんお一人ずつに質問し、答えていただく形で授業が進行しました。「舞台俳優として心がけていることは何ですか」、「よい舞台をつくり上げるために大切にしていることは何ですか」などの質問が出されましたが、一つ一つの質問に対し、たいへん丁寧にかつ、生徒の未来にしっかり示唆をいただくような心のこもったお答えをいただきました。時には「あなたにとってのよい舞台とは何ですか」と逆に生徒が質問される場面もあり、学びが深まっていました。



【全校授業で舞台俳優の方に質問する生徒】

生徒の記述にはこのような内容がありました。

- ・私は今日、劇団四季の方からのお話を聞いて、「働くこと」に対する考え方が変わったと思います。今までは働くことは辛いというイメージがあったけれど、働くことは大変だけれど自分の好きな仕事をするのは楽しいことだと知りました。学校生活についても四季の方が言っていたように大切にしていきたいです。
- ・僕も劇団四季の方々と同じで生活に必要なお金を稼ぐことが仕事だと思っていた。しかし、話を聞いて、誰かを楽しませたり、誰かの役に立ったりすることも仕事なのだと思った。そして、それはとても素敵なことであると思った。親や親先生方など、仕事をしている人は身近にたくさんいるが、今日のように詳しく話を聞くと、より深く働くということを考えられたと思う。

開校 70 周年を迎える年

時を越えて集い、つながる学び舎

10月7日に附属札幌小学校の130周年記念式典に、藤房第7号で紹介した第9期卒業生満華・ハスラーさんがアメリカからいらっしゃいました。小学校の式典に参加する前に、同窓の皆さん数名と本校を訪れました。当時の附属中学校のことなどのお話を進めていると、「久々に校歌を聴きたい」とい

うことになりました。そこで、放送専門局で特別番組を企画した専門局員に校歌を歌って聴かせてもらえないかということになりました。2階のホールで歌う準備をしていると、せっかくなので、もう少し多くの生徒による合唱にしようということになりました。給食準備中でしたが、急遽声をかけた1年C組の生徒、通りがかった3年B組の生徒の有志が集って校歌を披露してくれました。

満華・ハスラーさんや同窓生のみなさんも一緒に校歌を口ずさみ、まさに、時を越えて集い、第9期から現在の第69期～71期が校歌という共通の言葉や思いでつながったひとときでした。満華・ハスラーさんの目には涙が光っていました。



【第9期同窓生とともに校歌を歌う生徒】

第5回 合唱祭を終えて

10月28日、本校体育館にて第5回合唱祭が行われました。生徒たちは、朝、昼、放課後の限られた時間の中で、指揮者、伴奏者、各パートリーダーを中心に計画的に練習に取り組んできました。約一か月間、曲作りの過程で様々な課題に直面しつつ、それらを乗り越えて当日を迎えました。

張り詰めた雰囲気の中、学年合唱、各学級の発表と続いていきます。その中で印象深い場面がありました。それは、1年生や2年生の発表を聴いた3年生の生徒が、その歌詞の内容や歌う姿勢に感極まって目をぬぐっていたことです。もしかしたら、自分が過去に歌ったその曲や取組を思い出していたのかもしれない。また、3年生の発表のときには、今度は1、2年生が、その声量と表現に圧倒されながら身を乗り出して全身で演奏を聴いていました。本校は、合唱を学校の文化として大切にしてきましたが、それがしっかりと受け継がれていることを感じる場面でした。



【3年学年合唱「歓喜の歌」】

最終的に、どの学級も、素晴らしい合唱を創り上げることができたと思います。賞という結果が示されましたが、一つの曲を学級・学年の仲間とともに創り上げる過程で学んだことを心に刻んで、学級の仲間としての残りの期間を過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、今年も多くの保護者の方にご参会いただき、ありがとうございました。お子様の練習のため、朝、いつもより早めに登校できるようご配慮いただき、ご家庭におかれましても、練習への励まし、ご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

全国国立大学附属学校PTA連合会(全附P連)PTA研修会 第7回全国大会に参加して

PTA担当 東 岳 史

過日、歌原邦芳 PTA 会長をはじめ、本校 PTA 役員およびふじづる会役員の皆様、佐々木校長とともに、全附 P 連の研修会に参加してまいりました。今年度は「子どもたちに確かな未来を！ ～今なすべ

きこと〜」をスローガンとし、全国の国立大学附属学校園の保護者および教職員が集い、研鑽を深めました。

全体会では、ホスピタルクラウン（＝病院などで患者や医療スタッフの笑いを引き出す道化師）の視点で、昭和大学准教授の副島賢和氏が基調講演を行い、ご自身が勤めていらっしゃる「昭和大学病院内さいかち学級」での児童・生徒との関わりをご紹介いただきました。具体的なやりとりを挙げながら、心理学についてのお話をされていましたので、大変共感できるものであり、子どもと接するにあたって大切なことを改めて学ぶことができました。

また、引き続き行われた分科会では、「心身の発達の課題とインクルーシブな発達支援」「命を守る防災教育」「アクティブラーニングの実践に向けて」の3つの話題が設定され、分散して参加し、各々学びを深めてまいりました。

さらに本講演において、女優で戸板女子短期大学客員教授の菊池桃子氏からは、ご自身の子育ての経験や大学院での学びを、また、青山学院大学陸上競技監督の原晋氏からは、箱根駅伝優勝までのプロセスにおける努力や創意工夫のお話を伺うことができました。

今回の研修会では、普段体験することのできない貴重な経験をさせていただき、多くの学びを得ることができました。貴重な機会を与えていただき、感謝申し上げます。今後のPTA活動やお子様との関わりの中で、生かしていきたいと考えております。



【全体会開会式の様子】

INFORMATION

11月23日授業参観、学年懇談会のご案内

11月23日（水）勤労感謝の日に、全学年、今年度最後の授業参観、学年懇談会を予定しております。すでにご案内しておりますように、各学年の公開授業の内容は以下のようになっております。

第1学年

教科の授業公開後、学年PTA集会・懇談会となります。授業は、1A国語、1B社会、1C技術・家庭を公開します。

第2学年

「働くこと座談会」を公開します。現在、総合的な学習の時間で11月8日に行われる職業体験に向けた準備中です。この職業体験は、身近な他者として社会に生きる人との関わりをもち、これまでの学びを生かしながら自らの生活や行動について振り返り、社会に生きる一員として何ができるか、考えようとするをねらいとしています。参観日には、この職業体験での成果や課題を振り返った座談会となります。

第3学年

本校での学びの集大成として位置付けている総合的な学習の時間「ブルーム」の討論会を行います。ブルームは、生徒一人一人が社会問題に焦点をあて、自ら課題を設定し、調査活動を通して結果と考察を練り上げ、協同的・探究的に取り組む学習です。当日は、親としてではなく、一社会人としてご意見をいただければ幸いです。

11月

□11月25日(金)は、ふじのめ学級研究大会のため、家庭学習日となっております。
原則として午後3時半まで家庭で過ごすようご指導をお願いいたします。
今年度最後の授業参観、学年懇談会へのご出席もよろしくお願いいたします。

日(曜日)	行事等の予定	最終下校時刻
1(火)		16:50
2(水)	教職大学院後期実習開始 ⑥式典合唱練習 テスト範囲発表	16:50
3(木)	文化の日 部活動不可	
4(金)	職員会議 12 昼清掃	15:10
5(土)	部活動可	
6(日)	部活動可	
7(月)	PTA第1学年委員会(10:00~12:00 多目的室) PTA第2学年委員会(10:00~12:00 図書室) ⑤⑥式典合唱練習	16:50
8(火)	第2学年職業体験日(昼食持参) PTA第3学年委員会(9:30~図書室)	16:50
9(水)	3学年学力テストC ⑥式典合唱練習	16:50
10(木)	①②式典練習 ⑤会場設営 ⑥式典合唱練習	16:50
11(金)	開校70周年記念式典 10:00~本校体育館 祝賀会 18:00~札幌プリンスホテル	13:20(1、3年生) 15:00(2年生)
12(土)	部活動不可	
13(日)	部活動不可	
14(月)	テスト前諸活動停止・職員室入室制限	16:30
15(火)	ふじの輪(PTAOB)会	16:30
16(水)	後期中間テスト	16:50
17(木)	④国語科公開授業(1年)	16:50
18(金)	ブルーム討論会(在校生向け)	16:50
19(土)	部活動可	
20(日)	部活動可	
21(月)	②~④救命救急講習(2A) 職員会議	15:10
22(火)	教職大学院後期実習終了	16:50
23(水)	勤労感謝の日 3年ブルーム討論会(午前) ④1年授業参観、2年働くこと座談会 学年懇談会・PTA学年集会 14:00~	13:50
24(木)	振替休業日(11月23日) 部活動不可	
25(金)	ふじのめ研究大会(家庭学習日)	
26(土)	部活動可	
27(日)	部活動可	
28(月)	第3学年進路用写真撮影 ②~④救命救急講習(2B)	16:50
29(火)	④委員会・専門局会 ⑤国研公開授業 音楽 研究日23	16:10
30(水)	②~④救命救急講習(2C)	16:50